

認定看護師会お便り

2022年5月 認定看護師会

柏餅のおいしい季節となりました。みなさん、お体の調子はいかがでしょう。
本年度は、認定看護師の活動を知っていただくために、各認定看護師をご紹介します
5月号は、精神科認定看護師・関原亮平さん、がん性疼痛看護認定看護師・片塩幸さんです

精神科認定看護師・関原 亮平さん

Q自己紹介をお願いします

私は、北信総合病院に2017年4月に入職しました。それまでは、東京の精神科の病院に従事していました。認定の資格を取得したのは2020年4月で、精神科認定看護師として今年で3年目になります。趣味は、体を動かすことです。学生時代は、野球をやっていました。その他、スキーやスノーボードも毎年やっています。看護師になる前は、スキーのインストラクターをしていました。他にも、キャンプなども好きでアウトドアが好きです。

Qどんな活動をされているか教えてください

南4階の精神科病棟で勤務しています。
木曜日が、リエゾンチームの活動日として、身体科病棟に入院している患者様(せん妄、抑うつ、希死念慮etc.)を対象に、その病棟看護師と一緒にケアの方針や対応策について検討しています。
リエゾンチーム以外に、認知症ケアチームの一員として、水曜日と木曜日に各病棟をラウンドし認知症の方についてのケアについて検討しています。
この他、外来の患者様や当院職員などの面談を通し「メンタルヘルスケア」をしています。

Q認定看護師になろうと思った理由は？

私は、看護師になる前、精神科病院のデイケアでスポーツ指導員をしていました。その後、生活苦から看護師を志し、その精神科病院で看護助手として看護学校へ行き看護師資格を取得しました。学生時代から精神科病院に従事しており、精神科領域以外は関わらずにいました。その中で、次第に精神科看護についてもっと知りたいと考えるようになり、上司のすすめもあって認定看護師の道を選びました。

Qセールスポイントは？

私の強みは、強いていうなら話を聞くことが出来ることです。
時間の許す限り話を聞いて、その方の求めていることを見出し出していきます。

Qみなさんへのメッセージ

まだまだ認定看護師として歩み始めたばかりですが、
よろしくをお願いします。
疲れたときは、一緒に休みましょう！！



絵・せきはらりょうへい

スタッフさんから見た関原さんはこんな人

関原さんは、聴診器ではなく、目に見えない**聴心器**でこころの声を聞けるんです。
そして、引き出しから「言葉」というアイテムを取り出し、傷ついて折れたりバラバラになったこころに、**シンデレラフィット**させてしまうんですよ。
その言葉だって、平易な日本語ですよ。なんなのでしょう。とにかく、すごい人なんです。
話を聞いてもらうだけで、こころがスーッと楽になりますよ。ぜひ、連絡してみてください。

がん性疼痛看護認定看護師・片塩 幸さん

Q自己紹介をお願いします

私は北信総合病院に来て3年目に入りました。それまで神奈川県大学の大学病院で働いていました。認定看護師になって今年で20年、我ながらびっくりしています。特技はパツと思いつかなかったのので周りの人に聞いてみました。聞き上手、安心感オーラをだす(ありがとう)、掃除、整理整頓です。趣味は自然豊かな景観を見に行くこと、お城(山城も)に行き、堀や石垣の造りを見て攻守の思いの想像をすることです。年1回、全国城サミットという催しがあり、ちょっとワクワクします。

Qどんな活動をされているか教えてください

今年度から、がん相談支援センターの専従相談員となり、相談に来られた方の対応、がんに関する情報のアップデート、質の向上と維持のための研修、会議に参加しています。また、がん治療で外見の変化がある方へのアピランスケアを始めました。あれ？認定領域の活動は？と思うのですが、がんの患者さん、家族の苦痛(相談)は全人的苦痛といわれるものなので、相談のひとつひとつが実践と捉え対応しています。

Q認定看護師になろうと思った理由は？

？十年前、医療現場では、がんの痛みのある患者さんに使える薬が少ない時代でした。そのため私たち看護師は、そばにいてマッサージをしたり話を聴いたりすることしかできず、無力感でいっぱいでした。後にそれは“根拠のあるケア”と理解できたのですが、看護で痛みの緩和ができる知識と技術を得たい！が資格取得のきっかけでした。痛みの治療は薬物療法が中心になりますが、痛みを癒やすのは看護の力と自負しています。

Qセールスポイントは？

患者さんや家族、相談者がもつ力(強み・魅力)を見出し、その人自身がその力を発揮できるタイミングを伺い支えることです。そのために相手と対話を重ね、揺らぐ心の動きや変化を捉えながら必要なサポートをします。

Qみなさんへのメッセージ

しばらくお休みしていました認定看護師会お便りが再開しました。隔月でそれぞれの領域の認定看護師が登場します。「餅は餅屋」ということわざがありますが、困りごと悩み事などは早くから専門家に任せの方が上手くいくことがたくさんあると思います。ぜひ、院外のみなさまもお声かけください。



風を感じる

スタッフさんから見た片塩さんはこんな人

豊富な知識と経験を持ち合わせている片塩さんは、私たちにとって、とても頼りになる存在です。周りを観察し、適切どころで手を差し伸べてくれる冷静さ。そして、いつも長所に目を向けフィードバックしてくれる優しさがあります。言葉の端々に出てくる相手への思いやりと誠実さ。看護に対する情熱。支えられている患者さん、スタッフは多いと思います。そんな片塩さんがかけてくださる言葉は、私たちの看護に対するモチベーションや、やりがいに繋がっています。